

平成26年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	17	学校名	県立水戸第二高等学校				課程	全日制		学校長名	石崎 弘美							
副校長名	芝山 一弥			教頭名	藤田 知巳					事務(室)長名	渡辺 完							
教職員数	教諭	51	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	5	技術職員等	3	ALT	1	計	73
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数						
	普通科	0	322	0	320	0	318	0	0	0	960	24						

2 目指す学校像

豊かな人間性、積極的な実践力、合理的で公正な判断のできる叡智、たくましく生きるための健康や体力を備え、平和な国家・社会の進展に貢献できる品位と教養ある人材の育成を目指す学校

- 1 生徒ひとりひとりの学力を伸ばし、進路希望実現を図る学校
- 2 特別活動や各種部活動が盛んな活力ある学校
- 3 生徒・保護者・地域から信頼される魅力ある学校
- 4 社会規範を身に付け、広く社会に貢献できる良識ある指導者を育成する学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○入学時から2学年後半まで、平日の学習時間が2時間を下回っている。 ○自学の仕方が分からない生徒が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○難関大学への進学を意識した教科指導の工夫（互見授業など）が必要である。 ○主体的に学習する態度の育成が必要である。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○2年次で国公立大学を希望する生徒は80%いるが、現役で合格する比率は40%程度である。 ○難関大学への合格者が少なくなりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間を見通した進路指導を確立し、早期に受験体制に入れる工夫が必要である。 ○生徒の進路希望を実現させるための入試制度の活用や最後まで粘り強く取り組ませる進路指導の実践が必要である。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○スマホの急速な発達とともに、その使用時間など使い方に問題が出始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登校指導や服装指導等、教員が共通理解を持って指導することが必要である。
特別活動等	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の約80%が部活動に所属し、運動部・文化部とも各種大会で活躍している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事の精選・見直しが必要である。 ○部活動の充実とともに、学習時間を確保させる必要がある。

4 中期的目標

- 1 生徒の進路希望の実現を図る教科指導の充実とキャリア教育の構築
- 2 自主的・能動的な学習習慣の確立
- 3 SSH事業の充実（科学的素養を備えた女性の育成，世界を目指す女性科学者の基盤づくり，科学教育の拠点校としての確立）
- 4 国際理解教育の推進
- 5 特別活動や部活動への積極的な参加
- 6 規範意識の高揚と自律的で責任ある生活習慣の確立
- 7 施設・設備等の教育環境の改善・充実
- 8 広報活動の充実（保護者や地域への積極的な情報発信）

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の進路希望の実現を図る教科指導の充実とキャリア教育の構築	① 校内及び校外研修を充実させ，教科指導力の向上を図る。 ② 進路講演会，キャリアガイダンス，大学模擬授業などの進路行事を通して，学習意欲や進路に対する意識を高める。 ③ 個別面談を通して生徒理解を深めるとともに，早期における志望大学の決定を促す。 ④ 国公立大学現役合格140名以上，難関大学への合格者数増加を達成するため，個に応じたきめ細かな学習指導や進路指導を行う。
2 自主的・能動的な学習習慣の確立	⑤ シラバスを活用し，早い段階で授業中心の学習形態と自学自習の姿勢を指導する。 ⑥ 学習計画表を活用し家庭学習時間を把握するとともに，学習時間の確保を指導する。 ⑦ 学習室や図書室の利用を促進する。
3 SSH事業の充実	⑧ SSH講演会，自然科学体験学習，学校設定科目を通して科学的思考力を育成する。 ⑨ 海外セミナーを通して，プレゼンテーション力や英語活用力の向上を図る。 ⑩ SSH事業を充実・発展させ，地域の科学教育の拠点校としての役割を担う。
4 国際理解教育の推進	⑪ 各種コンクールや国際交流等の研修への参加を促し，異文化理解を推進する。 ⑫ 国際理解のための講演会の実施や，海外留学や海外の大学進学希望の支援を行う。
5 特別活動や部活動への積極的な参加	⑬ 生徒会活動や部活動などへの積極的な参加を促し，活力ある学校づくりにつなげる。 ⑭ 各種学校行事，委員会活動を通して，豊かな人間性やリーダーシップを培う。
6 規範意識の高揚と自律的で責任ある生活習慣の確立	⑮ 服装指導や生活指導を通して，公共マナーや社会のルールを身に付けさせ，自発的に行動できる生徒を育成する。
7 施設・設備等の教育環境の改善・充実	⑯ 校舎内外の清掃と教室の整理・整頓の徹底を図り，快適な学習環境を整える。 ⑰ 施設・設備等の安全点検を実施し，安全に生活できる環境を整える。
8 広報活動の充実 （保護者や地域への積極的な情報発信）	⑱ 広報活動計画を作成して体系的・組織的な広報活動を行い，本校の教育活動及びその成果について，地域や中学校など外部への周知を図る。 ⑲ HP内容の更新に努め，常に最新の情報を掲載する。 ⑳ 学校案内委員会を中心に，様々な機会に中学校等を訪問し，積極的な広報に努める。